

第 5 章 浴風会病院事業報告

第 1 節 概 要

1 病院運営上の主な事項

- (1) 医療スタッフの確保対策
- (2) 外来診療部門の整備
- (3) オーダリングシステムの導入
- (4) 収入の目標達成と今後の安定的経営基盤の確保対策
- (5) 院長の交代
- (6) 新型インフルエンザへの対応
- (7) 職員の福利厚生
- (8) ME 室の設置
- (9) 経費の節減対策
- (10) 東京都福祉保険局実地調査
- (11) 無料低額事業の新たな展開

2 診療実績

患者取扱数及び診療報酬

	延患者数	1 日当り取扱数	診療報酬単価	
入 院	102,672 人	281.3 人	医科	21,293 円
			介護	15,708 円
外 来	79,366 人	273.2 人	医科	7,297 円
			歯科	3,728 円

3 診療体制

- (1) 医師・看護師の確保状況

医師・看護師の配置状況は法定基準を維持しているが、当院の配置基準には確保困難な状況が続いており、夜勤専従看護師等非常勤職員を多く採用し勤務の多様化を図った。

(2) 職種別採用・退職状況

	採用	退職
医師	3	3
看護師	15	7
准看護師	2	1
ケア・ワーカー	7	7
理学療法士	2	1
作業療法士	2	0
言語聴覚士	1	0
臨床検査技師	0	1
薬剤師	0	0
事務	1	2
調理師	0	1
計	33	23

4 平成21年度事故報告件数 318件

転倒・転落 131件 (41%)、薬物 100件 (31%)

食事 17件 (5%) 処置 23件 (7%)

5 平成21年度病院会計収支

(千円)

収入額	支出額	差引
2,953,944	2,951,564	2,380

平成21年度病院会計における収支については1日取扱い入院患者が281.3人と目標患者数280人を上回りわずかではあるが当期剰余金2,380千円を計上できた。

(千円)

臨時収入	臨時費用	差引
1,214,915	1,052,263	162,652

平成21年度決算において過去の減価償却費については是正、臨時収入、費用処理により、当期剰余金162,652千円を計上した。

第 2 節 浴風会病院事業報告

平成 21 年度における浴風会病院の運営については、平成 21 年度事業計画に基づき事業を推進した。

1 平成 21 年度運営方針

- (1) 利用者本位のサービスの実践
- (2) 「地域社会との協働と貢献」の推進
- (3) 「専門性の活かせる職場づくり」の推進
- (4) 安定的経営基盤の確保

2 病院運営上の主な事項

(1) 医療スタッフの確保対策

① 多様化した看護職員の確保

1B 病棟において看護師の夜勤平均時間が 72 時間を越える事で減算が続いていたが 7 月から夜勤専従職員を確保する等で解消された。また非常勤の看護、介護職員を多く採用し、多様化した勤務体制を図り、看護職員の不足を補った。

② 未就労看護師の復職支援

20 年度から実施している看護師資格をもつ未就業の方へ復職支援として研修、実習を引き続き行なった。地域に貢献するとともに当院の採用へも繋げる。

(2) 外来診療環境の整備

① 診察室のプライバシー確保のための間仕切り工事

診察中の声が漏れないように間仕切りを強化、入り口もカーテンから扉に替えプライバシーの確保を図った。

② 外来エリアのトイレの改修

障害者用トイレについては 2 室を 1 室にすることで介助者が十分動けるスペースを確保した。一般用についても少し大きくし環境を整えた。床の張替えや塗装、レイアウトの変更により診察室近くにあっても清潔感のある装いにニューアルした。

③ 禁煙・分煙の徹底

院内の全面禁煙の実施、患者、来院者、職員全て屋外のみの喫煙となる。

(4) オーダリングシステムの導入

平成22年2月にシステム企画室を立ち上げ、来年度の10月スタートを目途に動き始め、外来処方業務を中心に実施する。

(5) 無料低額事業の新しい展開

昨年度においてはホームレスへの支援事業が具体的に行なわれてきたところであるが、本年度からは外国人の難民支援事業へ新たに無料低額の事業展開を行なった。社会福祉法人が行なう医療機関として努力する。

(6) 収入の安定的確保対策

① 収入の目標達成

本年度における予算において1日平均入院患者において目標数280人を上回る281.3人を達成、外来患者においては273.2と目標数の275には及ばなかったが診療単価が上がったことから目標を上回る収入が確保できた。

② 22年度診療報酬改定（医療）等による対策

当院においては回復期リハビリ病棟においては報酬が引き上げられ収入増が見込めるものの、一般病棟、医療療養病棟において引下げがあり、収入がマイナスの予測をした。次年度においては目標患者数を入院285人外来300人にすることで収入の安定的確保を目指す。

③ 専門外来の拡充

「脳ドック」は医師1名から2名体制で取り組んだ。「物忘れ外来」は順調に推移している。

21年度「物忘れ外来」実績

予約数	受診者数	キャンセル数
211人	163人	48人

④ 平成21年度医薬品の単価契約について

今年度下期において薬品費の削減を目的として納入業者について指名競争入札を実施、最低価格で入札した1社と契約することとした。

(7) 院長の交代

6月1日より大友英一院長から吉田亮一院長へ新体制が開始、監督省庁への届出、各団体、関連施設への挨拶を行うとともに、パンフレット、ホームページも改定し、区民を始めとする利用者等への周知を図った。

3 診療実績

(1) 患者取扱数

① 入院患者数は延 102,672 人（医療保険 65,367 人、介護保険 37,305 人）

1日平均 281.3 人（医療保険 179.1 人、介護保険 102.2 人）1日当り取扱患者数は前年度比 10.5 人と大きな増となった。

② 外来患者数は延 79,366 人（医科 72,699 人、歯科 6,667 人）、1日平均 273.3 人（医科 248.1 人、歯科 25.2 人）前年度比延患者数 363 人、1日平均 1.5 人の増となった。

(2) 入退院患者数

新入院患者数は 751 人で前年度と比べ 59 人の減で、退院患者数 746 人で前年度比 49 人の減で、そのうち死亡退院は 195 人で前年度に比べ 16 人の増であった。

(3) 病床利用率 94.4%（前年度 91.0%）

(4) 平均在院日数

① 一般病棟 58.4 日（前年度 54.4 日）

② 療養病棟 994.8 日（前年度 837.5 日）

(5) 診療報酬単価（請求額）（1人1日当り）

① 入院患者

医科 21,293 円（前年度 20,793 円）

介護 15,708 円（前年度 15,456 円）

② 外来患者

医科 7,297 円（前年度 6,580 円）

歯科 3,728 円（前年度 3,723 円）

(6) 区民健康診査 2,523 人（前年度 2,774 人）

4 安全管理

- (1) 医療安全管理委員会は毎月開催される委員会においてインシデント・アクシデント報告について事例検討により事故防止に努めている。

平成 21 年度事故報告件数 318 件（前年度 321 件）

転倒・転落 131 件（41%）、薬物 100 件（31%）

食事 17 件（5%）、処置 23 件（7%）

- (2) 新型インフルエンザ対策

院内感染防止対策委員会を中心に保健所、医師会との連携により 5 月より高熱のある方について感染拡大防止対策として正面玄関において問診し疑われる方は隔離した状態での診察を実施した。主要職員のマスクの着用を義務付けた。9 月には正面玄関に専用窓口を設け 1 名職員を配置し、蔓延防止に努めた。杉並区医師会の指導に基づき、10 月には医師、看護師を中心とした医療従事者の予防接種を開始、患者さんに対しては、インフルエンザに感染すると重篤になる基礎疾患の方への予防接種へも順次実施していった。感染された方はいたものの全国的にも当院においても猛威を振るうほどではなく終息した。過去に無い体験により苦慮したところであるが十分な対策ができた。

- (3) ME 室の設置

医療機器の適切な管理をすることで、患者さんへ安全で安心できる医療を提供するため ME 室を設置した。場所は旧中央滅菌材料室を一部改装して、副院長の直属の中央部門とし、臨床 ME 専門認定士取得者を責任者として兼務発令し運営している。病棟スタッフも兼務で業務を行っている。

- (4) 防災対策

平成 21 年度は、災害発生時の院内協働体制と患者誘導の実際を確認する総合訓練を実施、夜間の火災を想定した訓練を看護部中心に実施した。

- ① 総合防災訓練実施

ア 平成 21 年 10 月 9 日 9 時 10 分 ～ 16 時 00 分

「大規模地震に関する警戒宣言発令想定訓練」として、本部が総合防災訓練を実施し、当院からは 10 名参加した。

イ 平成 22 年 2 月 24 日 15 時 30 分 ～ 16 時

当院防災訓練として、3B 病棟を中心に、夜間に火災発生したとの想定で通報、

避難誘導、消火訓練を実施した。

参加 20 名

② 救命講習会

平成 22 年 3 月 18 日浴風会大ホールで杉並消防署主催、当院から参加 2 名

5 医療機器及び設備の整備状況

(1) 機器の整備

① 超低温槽 (-85℃対応) EBL-330	1 台	1,336 千円
② 特殊入浴装置シャワーヘッド (アナログ) JSB-500	2 台	9,241
③ 電動介護ヘッド KA-2087A	10 台	2,100
④ 清拭車	1 台	147
⑤ アルミ軽量ストレッチャー AL-TUD-1 (特注)	2 台	651
⑥ 眼軸長測定装置 AL-3000	1 台	1,363
⑦ 漏れ電流チェッカー LCC-1101	1 台	116
⑧ NEC パソコン MJ22L/C-6	1 台	124
⑨ 東芝ノートパソコン PATX67KRFBL	1 台	145
⑩ 光触媒環境浄化装置 SPP-20iT	2 台	1,029
⑪ 傾斜型安全キャビネット BHC-1006 II A2	1 台	1,235
⑫ 予薬カート CUA4-AL21020A	1 台	252

(2) リースによる整備

① ゼロックスコピー機 (3 台)	月額	24 千円 (6 月～)
② 医事会計端末 2 台追加	月額	35 (6 月～)
③ 日立 7180 形自動分析装置	月額	313 (8 月～)
④ 医事会計端末 1 台追加	月額	19 (9 月～)
⑤ 便ヘモ測定 OC センサー	月額	45 (9 月～)
⑥ 尿分析装置 US-2200	月額	12 (9 月～)
⑦ 日立 7180 形健診追加システム	月額	14 (1 月～)
⑧ 薬品在庫管理システム	月額	32 (1 月～)
⑨ 心臓超音波装置	月額	285 (2 月～)

6 医療技術部門稼働状況

区 分	18年度	19年度	20年度	21年度	
入院処方箋数	26,899	22,722	28,951	29,088	
外来処方箋数	35,331	34,138	33,512	33,052	
院外処方箋数	29,792	30,559	31,738	31,124	
注射処方箋数	33,483	43,267	32,003	35,943	
薬剤管理指導件数	61	58	57	50	
整形外科手術件数	3	3	0	0	
眼科手術件数	84	96	75	83	
内視鏡検査件数					
上部消化管	165	184	213	274	
下部消化管	29	56	45	66	
内視鏡検査件数	計	194	240	258	340
検体検査件数	23,772	25,863	26,039	29,026	
生理検査					
超音波（心）	815	926	908	1,294	
超音波（腹）	1,109	1,103	1,224	1,276	
心電図	6,527	6,816	6,858	6,382	
脳 波	781	618	465	473	
その他	673	748	780	513	
生理検査	計	11,964	12,313	10,424	9,938
病 理					
細胞診	281	280	235	118	
組織診	98	99	100	86	
剖 検	19	23	20	20	
剖検報告会	10	10	11	10	
X線検査					
単純	10,797	11,759	11,291	12,415	
造影（消化器）	41	4	178	131	
C T	3,086	3,161	3,417	3,766	
MR I 検査	893	940	1,038	1,061	
脳ドック	107	100	113	98	
医療ケースワーク件数	11,590	11,468	12,017	11,840	
総食数					
一般食	214,490	223,788	223,738	233,581	
特別食調理食数	26,623	26,352	27,448	23,396	
栄養指導件数	41	23	23	24	

7 平成21年度 教育・研修実績

I 職員研修実績

研修総時間数 430時間

参加者数 781名

内 訳

	時 間	参加数	1A	1B	2A	2B	3A	3B	看護部・外 来他
院内研修	118	721	110	102	101	66	80	75	177
院外研修・学会	312	60	5	11	12	8	8	6	10
計	430	781	115	113	113	74	88	81	187

II 看護学生実習および研修

1. 実習・研修総時間数 236 時間

実習・研修者数 39 名

2. 実習・研修校別

武蔵野大学 老年看護学実習Ⅱ(11名)

実習期間	時 間	3A病棟	3B病棟	合計
10/5～10/15	42	3	3	6
10/26～11/6	42	2	3	5

東京医科歯科大学 老年看護学実習(24名)

実習期間	時 間	1A病棟	1B病棟	3A病棟	3B病棟	合 計
11/6～11/20	54	3	3	3	3	12
12/3～12/17	54	3	3	3	3	12

武蔵野大学 看護学部 (1名)

	期 間	時 間	3B病棟	合 計
卒業研究	7/21～7/25	30	1	1

武蔵野大学 看護学部 (1名)

	期 間	時 間	3A・3B病棟	合 計
自己研修	9/14～9/15	12	1	1

一日看護体験学習 (2名)

学 校 名	実習期間	時 間	1B病棟	合 計
富士見丘高等学校	7/29	3.5	2	2

8 平成21年度 院内・院外研修実績

月	院内研修		院外研修	
	看護部	浴風会・病院主催研修	看護協会・その他の研修	学会・研究会
4	・新任研修(看護、介護)3日間 ・レベル共通研修:医療事故を防ぐー患者外傷編ー	・接遇・認知症理解(9)		
5	・レベルⅢ研修:看護過程・記録(事例検討) ・レベル共通研修: ①腰痛予防 ②認知症理解と看護・介護		・病院機能評価(1) ・看護必要度評価者院内指導者研修(2) ・全国回復期リハビリテーション病棟全職種研修会(1)	
6	・レベル共通研修: ①院内研究(1回) ②認知症理解と看護・介護 ③輸液・栄養管理	・法令遵守(1) ・階層別Ⅴ(2)	・患者満足度と病院経営(3) ・褥瘡ケアセミナー(2) ・プリセプターのための実務研修(1)	
7	・レベルⅠ研修: ①他施設見学 ②3か月フォローアップ研修(中途採用者含) ・レベルⅢ研修:看護過程と看護記録(事例検討) ・レベル共通研修: ①認知症理解と看護 ②介護・栄養輸液リスクマネジメント ③接遇	・階層別Ⅳ(3)	・医療・看護の安全性(3) ・摂食・嚥下研修会(1) ・プリセプターのための実践研修(2) ・師長イキイキ看護管理(1) ・看護師の業務と法的責任(1) ・看護・介護研修会(1)	・全国老人ケア研究会(8)
8	・レベルⅠ研修: ①急変時のアセスメントと看護 ・レベル共通研修: ①接遇 ②医療ガス ③DC.AEDの操作 ④院内研究(2回)	・個人情報保護法(9)	・倫理と認知症介護(1) ・看護師のためのリーダーシップ(3) ・医療・看護の安全(3)	
9	・レベルⅠ研修: ①看護過程・看護記録 ・レベル共通研修: ①接遇 ②レスピレーターの正しい操作 ③院内研究(3回)	・正確な摂食嚥下の観察評価による口腔機能向上へのアプローチ(9)	・他職種で学ぶ口腔リハビリテーション(2) ・院内教育担当者研修(1) ・老年看護学会(3) ・日本老年学会(1)	・日本看護学会「老年看護」(3) ・日本老年看護学会(1)
10	・レベルⅠ研修: ①6か月フォローアップ研修(中途採用者含) ・レベル共通研修:院内研究(4回)		・東京都認知症介護実践者研修(1) ・スキルアップ研修(1)	・日本看護協会「看護管理」(2)
11	・レベルⅠ研修:ケアプラン・介護記録 ・レベル共通研修:日常生活機能評価 ・その他:事例検討会	・階層別研修Ⅱ(1) ・感染予防(3) ・いじめ・パワハラ(16)	・医療機器の安全管理(2) ・認知症介護に活かすICFの視点(1)	
12	・レベル共通研修: ①院内研究(5回) ②摂食・嚥下障害 ・その他:事例検討会		・EBNに基づいた褥瘡ケア(2) ・東京都認知症介護実践リーダー研修(1)	
1	・レベル共通研修: ①看護師の知りたい心電図1 ②院内看護研究発表	・階層別管理者研修(4) ・介護職員に必要な医学の知識(10)	・2年課程(通信制)進学に向けての説明会(1)	
2	・レベルⅠ研修: ①中途採用者のフォローアップ研修(ケアワーカー) ・レベル共通研修:院内研究(5回)	・「きたざわ苑」見学(6)	・モニター講習会(2) ・これからの外来看護(1) ・医療安全管理者養成研修(1) ・首都圏呼吸ケアセミナー(1)	
3	・レベルⅠ研修: ①フォローアップ研修(事例発表)	・新人アドバイザー研修(9) ・「弘陽園」見学(2)	・社会保険診療報酬改定説明会(2)	

レベル	研修名	実施時間	参加数	1A	1B	2A	2B	3A	3B	外来・看護部・他
レベルⅠ	オリエンテーション・辞令	1	10	1	1	1	1	1		5
	看護部の理念・看護方針他	1	10	1	1	1	1	1		5
	社会人としての接遇	1.5	10	1	1	1	1	1		5
	認知症の理解	1.5	10	1	1	1	1	1		5
	老年期の理解と認知症患者への対応	1	10	1	1	2	1	1		5
	医療安全・感染防止	3	12	1	1	2	1	2		5
	看護過程・看護記録・介護記録	1.5	5	1	2		1	1		
	安全な与薬と麻薬の管理	1.5	5	1	1	1	1	1		
	実技(懸濁法、シリンジ・輸液ポンプ・移送)	3	6	1	1	2	1	1		
	高齢者の栄養ととろみの使い方	1	10	1	1	1	1	1		5
	ケアワーカーの役割	1	7	1	4		1	1		
	おむつの当て方	1	5	1	1	1	1	1		
	他施設見学	1.5	7	1	3	1	2			
	フォローアップ研修(看護師)1.5H×3	4.5	12	2	5	3	2			
	フォローアップ研修(ケアワーカー)1H×2	2	9	1	4			4		
	急変時のアセスメントと看護	1.5	3			1	1		1	
看護過程・看護記録	1	3			1	1		1		
レスピレーターの正しい操作	1	4	1		1	1		1		
レベルⅡ	ケアワーカーの役割(ケアプラン・介護記録)1.5H×2	3	10	1	3			4	2	
	施設間交流研修	7.5	4	3	1					
レベルⅢ	看護過程・看護記録(事例検討)(1.5H×2)	3	10	1		9				
レベルⅣ	72時間規定(看護長)	1	7	1	1	1	1	1	1	1
小計		44	169	23	33	30	20	22	6	36
レベル共通	腰痛予防	1	15	1	2	4		4	4	
	認知症理解と看護・介護(1.5H×3)	4.5	70	15	7	7	7	7	12	15
	輸液・栄養管理	1	9	3	2	2	1	1		
	栄養輸液リスクマネジメント	1	15	2	2	4	3	1	2	1
	医療ガスの理解	1	10	2	3			1	2	2
	接遇×3	4.5	166	21	14	24	14	21	14	58
	AED・DCの操作	1.5	27	5	4	4	3	2	7	2
	日常生活機能評価(1H×2)	2	5	5						
	院内研究(6回)	8	37	1	10	7	2	10	7	
	院内研究発表会	1	24	4	6	2	4	1	1	6
	摂食・嚥下機能障害の看護	1.5	21	2	7		2	3	5	2
	うるおいキープの使用法	0.5	19	2	4	3	4	2	4	
	ナースの知りたい心電図	1.5	12	3	1	4	2	1	1	
小計		29	430	66	62	61	42	54	59	86
病院・浴風会主催	輸液の調剤と器材の知識—正しく使って安全に—	1	16	1		3		1	4	7
	医療安全を防ぐ—患者の外傷編—	1	39	6		4	3	2	3	21
	法人・施設としての法令遵守	1.5	1							1
	個人情報保護法のポイント	2	6	3	1			1		1
	仮想別研修Ⅱ	5	1	1						
	階層別研修Ⅴ(リーダー研修)	12	2	1		1				
	階層別研修Ⅳ	6.5	3	2	1					
	階層別管理者研修	1.5	8	1						7
	感染予防	2	3							3
	いじめ・パワハラメント	1.5	16	1		1	1			13
	介護職員に必要な医学の知識	2	10	2	4				2	2
	新人アドバイザー研修	5	9	1	3	1	1	2	1	
施設見学「きたざわ苑・弘陽園」2H×2	4	8	2	1	1	1	1	2		
小計		45	122	21	7	10	4	4	10	55
合計		118	721	110	102	101	66	80	75	177

9 年度別収支（損益）状況

(千円)

区 分	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	金額	医 業 収入比%	金額	医 業 収入比%	金額	医 業 収入比%	金額	医 業 収入比%	金額	医 業 収入比%
医業収入	2,734,780	100.0%	2,619,430	100.0%	2,766,542	100.0%	2,679,374	100.0%	2,868,250	100.0%
診療収入	2,413,876	88.3%	2,308,402	88.1%	2,471,946	89.4%	2,388,832	89.2%	2,533,027	88.3%
診療外収入	320,904	11.7%	311,028	11.9%	294,596	10.6%	290,542	10.8%	335,223	11.7%
医業外収入 施設設備補助金 収 益	17,485	0.6%	39,063	1.5%	29,640	1.1%	16,642	0.6%	44,549	1.6%
									41,145	
収入合計	2,752,265	100.6%	2,658,493	101.5%	2,796,182	101.1%	2,696,016	100.6%	2,953,944	103.0%
医業費用	2,720,565	99.5%	2,706,679	103.3%	2,756,701	99.6%	2,706,577	101.0%	2,922,561	101.9%
人件費	1,690,171	61.8%	1,747,039	66.7%	1,756,214	63.5%	1,720,314	64.2%	1,831,512	63.9%
材料費	572,164	20.9%	530,797	20.3%	558,206	20.2%	525,852	19.6%	546,938	19.1%
経費	258,603	9.5%	242,131	9.2%	243,291	8.8%	254,285	9.5%	271,239	9.5%
委託費	121,514	4.4%	117,133	4.5%	126,328	4.6%	130,981	4.9%	144,775	5.0%
研究研修費	7,288	0.3%	10,069	0.4%	11,685	0.4%	9,073	0.3%	9,504	0.3%
減価償却費	70,825	2.6%	59,510	2.3%	60,977	2.2%	66,072	2.5%	118,593	4.1%
医業外費用	31,298	1.1%	34,792	1.3%	31,556	1.1%	29,210	1.1%	29,003	1.0%
費用合計	2,751,863	100.6%	2,741,471	104.7%	2,788,257	100.8%	2,735,787	102.1%	2,951,564	102.9%
収支－費用＝	402		△ 82,978		7,925		△ 39,771		2,380	
臨時収益									1,214,915	
臨時費用									1,052,263	
差 引									162,652	

